

危険!



ニユルを満喫してください。ただしゲームではないことをお忘れなく。何人ものライダー/ドライバーがここで死亡または重傷を負っています。

やるべきこと ...

- ここは公道だということをお忘れなく。コーナーを抜けた先では、40km/hで走るバスがコースをふさいでいるかもしれません
- バイクだけではなく車でもヘルメットを被ること
- 後ろから来る速い車/バイクをミラーで確認すること。追いつかれるということはあなたよりも速いということです。右ウィンカーを出して右側に寄って抜かせましょう。急な動きは避けること。同様に、追い越す時は慎重に
- 安全な車間距離をとること
- 定期的に休憩すること。ニユルは1周20km以上 - 一瞬の集中力不足が命取りです
- 走る前に車両を点検すること。水・オイル漏れは他人をも危険にさらします
- ほとんどのコーナーにエスケープゾーンやサンドトラップがないことを忘れずに。ガードレールは丈夫ですよ
- 事故現場に注意して、徐行して通過すること。観客からの合図も含めて、イエローフラッグや「スピード落とせ」のサインに注意すること
- ドイツの道交法が適用されることを忘れずに。人身事故は警察が現場検証を行い、過失が認められれば起訴されます
- 緊急電話番号を携帯電話に登録すること：
+49 2691 302215.

やってはいけないこと ...

- 1周目から熱くならないこと：先の読めないコーナーが多数、路面は滑りやすいのです。運転の上手な人でもコーナーをきちんと把握するには50-100周はかかります
- ウェット時にはタイヤのグリップを期待しないこと：現代のサーキットとはまったく違います
- 車・バイクの限界を試さないこと。それは隣のGPコースのように安全な現代のサーキットで試しましょう
- 右側から追い越さないこと。左ウィンカーを出して追い越しの意思表示をし、前の車が右ウィンカーを出してあなたに追い越させるまで待ちましょう
- コースを完全に理解するまでは同乗者を乗せないこと。乗せる時は安全マージンを多めに取らしましょう
- 救急救命活動の場合を除き、コース上に停車しないこと。停まる必要があるときは走行ラインから離れた路肩の草地に停めること、さもなければあなたがぶつけられます。後続車に危険を知らせる際はガードレールの外に出て事故現場よりもかなり手前に戻って行うこと。事故現場の直前でこれを行うとかえって後続車の注意がそれ、事故を誘発します。両腕を上下に動かして「速度落とせ」の指示をしましょう
- 故障車は動かさないこと：コース上に水やオイルを垂らして事故を誘発する恐れがあります